

# 令和3年度 学校評価

## <学校教育目標>

1. 質素、忍耐、規律、思いやりを基軸とし、知性、学識、健康、道義、友情の形成を高揚する。
2. 課程の如何を問わず、常時一人もれなく学習生活の目標をもった生徒の教育を遂行する。
3. その他常に顧みて創立の精神に徹した教育を 実践する。

## <各科共通目標>

1. 体育、文化面等に思い切り個性を伸ばし、幅広く楽しい高校生活の創造。
2. 事務系、実技系、あらゆる企業への完全就職。
3. 大学・短大の推薦入学や、看護医療系、美容系、食物系、教育系等の専門学校への進学。
4. 礼儀正しく、節度ある良識人の育成。

## 普通科

- 進学・グローバルコース  
語学学習や文化交流において、国際感覚を身につけ、グローバル社会に対応できる人材を育てる。
- 観光・ビジネスコース  
地域と連携した学びを通し、地元で活躍できる人材を育てる。
- みらいくるコース  
自立支援や社会性の育成を行い確実な進路へ導く。

## 家庭科

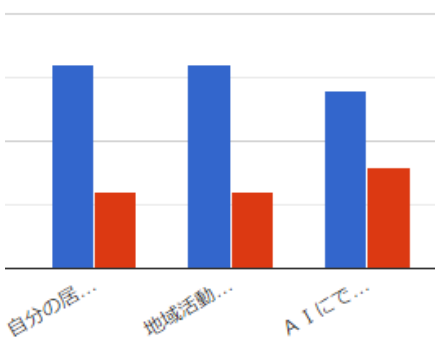
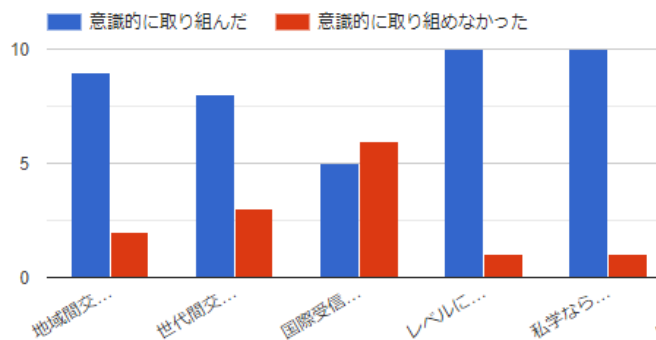
- ファッションデザインコース
  1. 被服全般に関する広い知識を身につける。
  2. 被服製作の技術を確実に身につける。
  3. 被服関連企業への就職又は、技術自営の出来る技能者となる。
- フードデザインコース
  1. 食に関する広い知識を身につける。
  2. 調理衛生の技術を確実に身につける。
  3. 調理関連企業への就職又は、技術自営の出来る技能者となる。
- 保育ふくしコース  
保育園児・高齢者との交流や様々な体験授業を通し、実践力を育む。また、興味・関心を追求し、将来の職業人としての自覚を育てる。

## 社会福祉科

1. 先ず、福祉の心、人間としての真の優しさを養う。
2. 福祉看護の基礎知識、基礎技術を身につける。
3. 介護福祉士の国家資格をとる。
4. 福祉・医療系の上級学校への進学。福祉関係職場に就職する。
5. 将来、福祉社会を支える人材となる。

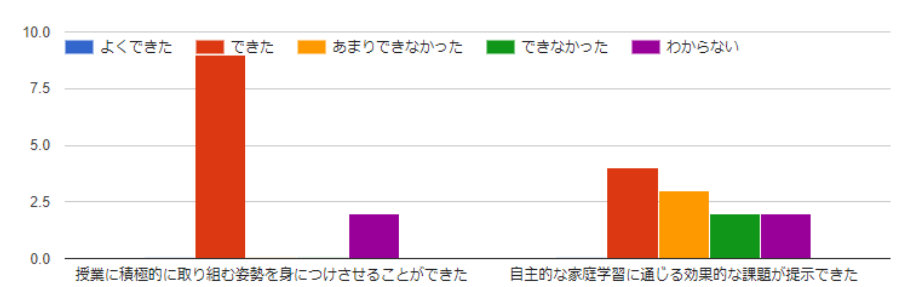
## 今年度の重点目標

- 地域間交流の意識啓発と活動
- 世代間交流の意識啓発と活動
- 国際受信・発信の意識啓発と活動
- レベルにあった学習支援
- 私学ならではの個性を引き出す教育
- 自分の居場所をつくることのできる環境の整備
- 地域活動・地域貢献できる人材を育成
- A Iにできない人間力の育成

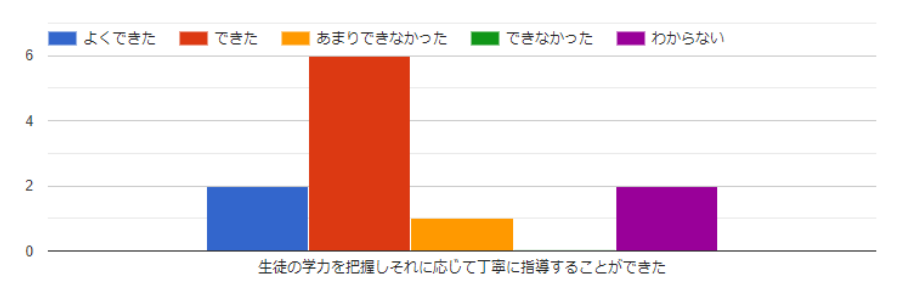


## <生徒の指導>

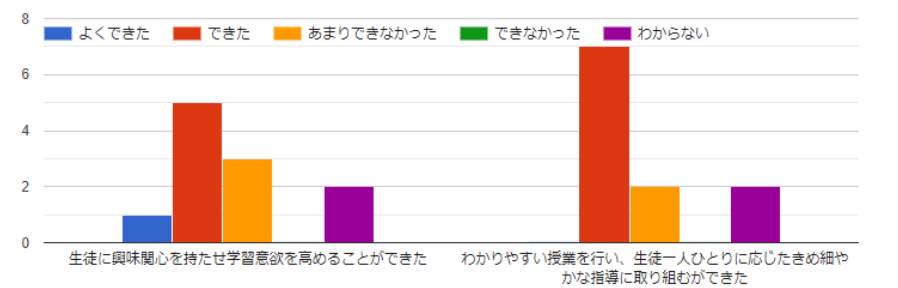
### (学習指導) 学習習慣の確立



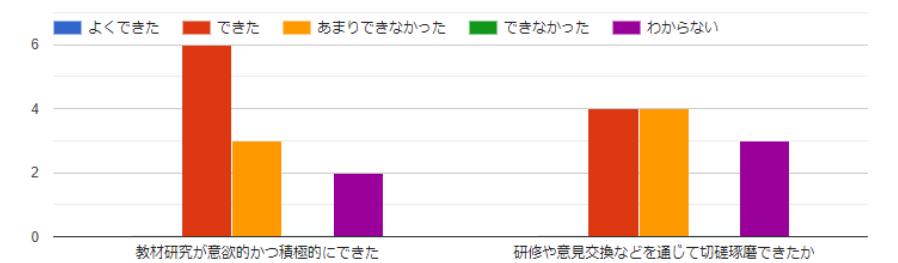
### (学習指導) 学力の向上



### (学習指導) 授業の工夫



### (学習指導) 教員の資質向上



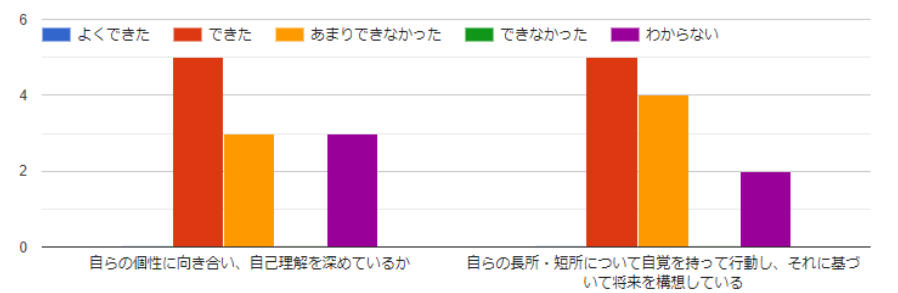
## 成果

- 教材研究を行い、生徒が理解しやすいように工夫したつもりではあったが、生徒の意欲を引き出すことができない教材があった。
- 電子黒板等を活用することができた。
- 目的意識をはっきりとさせることは、少しは取り組めたと思います。
- 中学校からの苦手意識を減らすことができた。

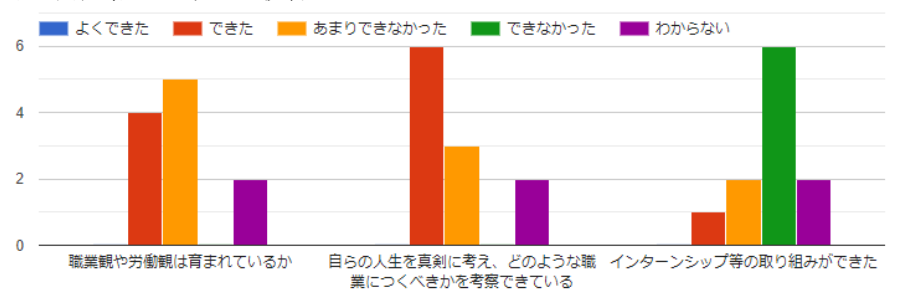
## 課題

- ICTの積極的活用
- 目標にあった知識をどれだけ増やすことができるか。
- 協同学習などの取り組みがあまりできていない。

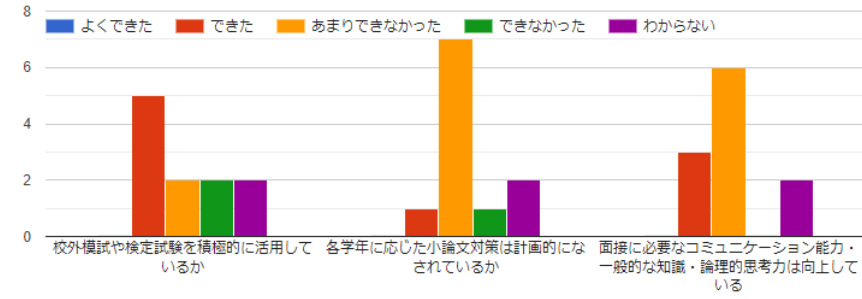
### (進路指導) 自己理解



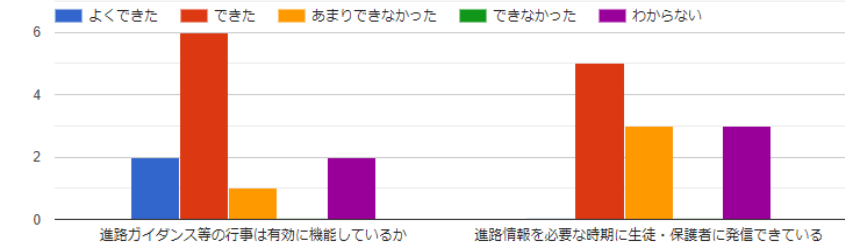
### (進路指導) キャリア教育



(進路指導) 受験への対応策



(進路指導) 進路情報の提供



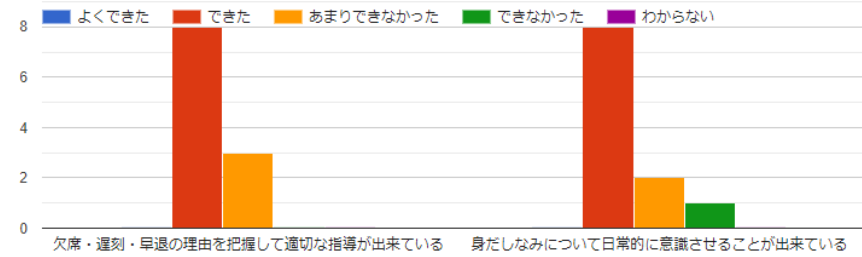
成果

- 進路に関して、各自の目標の達成ができている点がある。
- 卒業後の進路を見据えたマナーアップ講座を開講できた

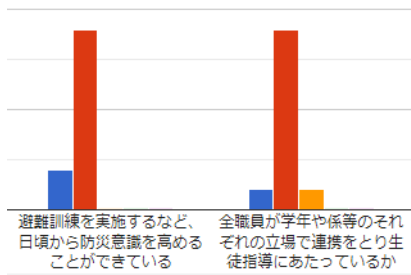
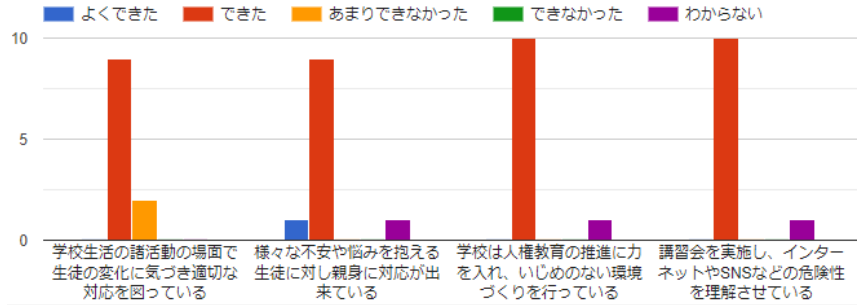
課題

- 1年生からの進路指導の徹底。
- 生徒個人個人に沿った進路指導を行うこと

(生徒指導) 基本的生活習慣の確立



(生徒指導) 安心安全な環境づくり



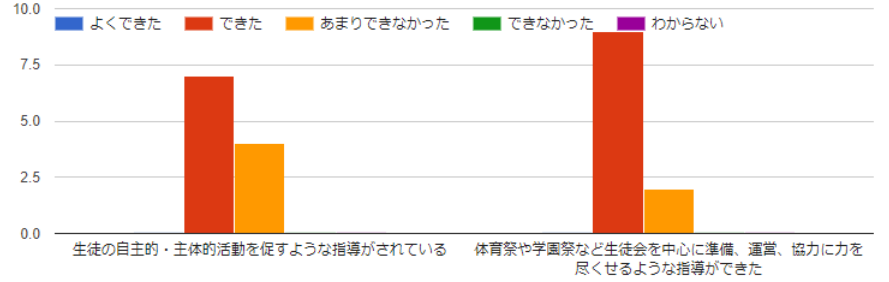
成果

- 担任、学年と情報共有しながら個々に応じた対応を図ることができた。
- 生徒一人ひとりに対応すること。
- 不安を抱いて教室に入れない生徒に対し、個々の状態にあった対応を行った

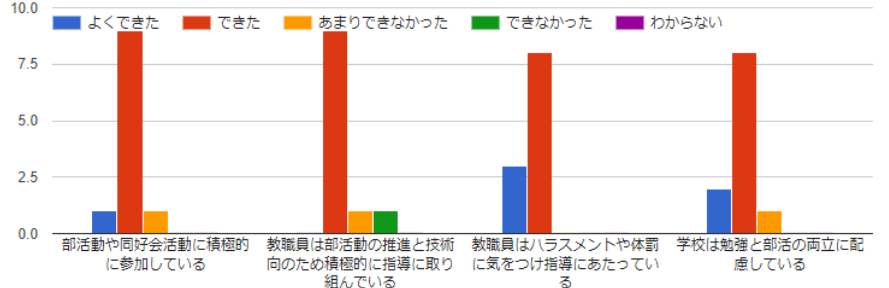
課題

- もっと生徒に向き合うこと。
- 学年を超えて生徒指導を行うこと

(課外活動) 生徒会活動



(課外活動) 部活動など



成果

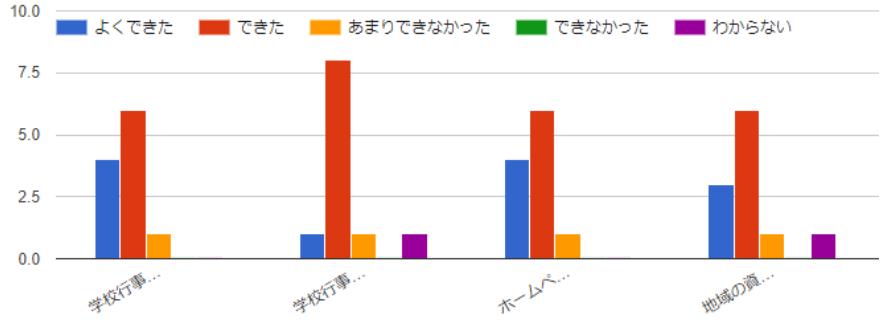
- 一人ひとりの取り組みを確認する。
- 大会やイベントに多数参加できた

課題

- さらに踏み込んだ計画と実践。
- 部活内でのルールを守ったり、主体的に行動するという点で指導が必要。

<学校運営>

(家庭・地域との連携) 魅力ある開かれた学校づくり



- 学校行事への招待など積極的な世代間交流・地域間交流ができた
- 学校行事や授業を通し、国際受信・発信ができた
- ホームページ・赤レンガ・安心メール・学級・学年通信を通して各種情報を生徒、保護者、外部に発信できた
- 地域の資源を生かしながら地域貢献ができた。また、地域の資源を生かした活動ができた
- 学校と保護者教育委員会、同窓会の連携は円滑に機能している

成果

- 学校行事など発信できたと思います。
- 域学連携などの取り組みが継続的にできた

課題

- 更に連携を深めていく必要があると思います。
- 体育祭、学園祭などコロナ前に行われていた行事について再度行えるようにする取り組みが必要。

<理事長による所見>

今年度、重点目標に関し、よく取り組めた。本校のカラーや方向性を示していくことができつつある。個別の項目については結果の改善を次年度に期待したい。